

第69回

# 九州地区英語教育研究大会

熊本大会

大会  
テーマ

## 小中高の連携を目指した英語教育

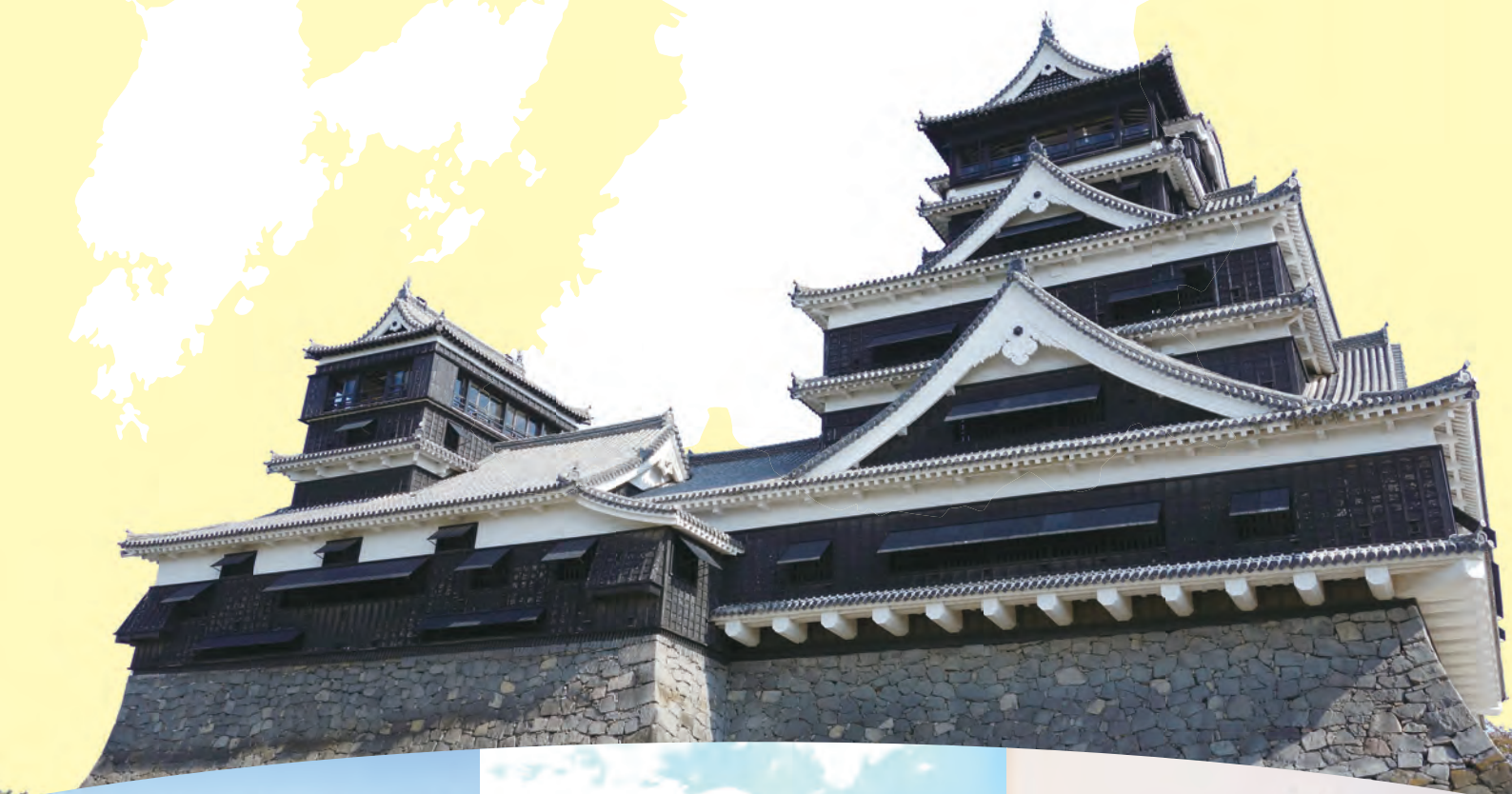
～児童生徒の主体的・自律的な学びに向かって～

期日

令和3年 10月15日(金)・16日(土)

会場

熊本城ホール・熊本県立第一高等学校



水前寺公園



阿蘇草千里



うたせ船

【主催】九州地区英語教育研究団体連合会 熊本県高等学校教育研究会英語部会  
熊本県中学校英語教育研究会 熊本県小学校英語教育研究会  
【後援】熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本県私立中学高等学校協会

令和3年 第69回  
**九州地区英語教育研究大会**  
(熊本大会)



©2010 熊本県くまモン

**主催**

九州地区英語教育研究団体連合会  
熊本県高等学校教育研究会英語部会  
熊本県中学校英語教育研究会  
熊本県小学校英語教育研究会

**後援**

熊本県教育委員会  
熊本市教育委員会  
熊本県私立中学高等学校協会

**目的**

九州地区小学校・中学校・高等学校の英語教育に関する諸問題を研究協議し、小学校・中学校・高等学校の連携の強化を図るとともに、これからの子どもたちへの英語教育の振興を期する。

**大会テーマ**

**小中高の連携を目指した英語教育**

～児童生徒の主体的・自律的な学びに向かって～

**大会テーマの設定理由**

世界の人材養成競争のなか、日本でも英語教育改革が進行しています。その改革と特徴は、小・中・高等学校のそれぞれの学校段階での改革にとどまるものではなく、大学教育や社会で求められる資質としての外国語教育までを一体的に貫く改革であるということです。小学校から高等学校まで、英語を使って「何ができるようになるか」という学習到達目標が連続的・発展的に設定されています。私たちは、小学校・中学校・高校段階で生徒たちがどのような目標を持って学習を積み重ね、英語を使える国際人を育成するのかという到達ヴィジョンを設定するためにも、さらに一層の小中高の連携が必要となると考え、このテーマを設定しました。

**期日**

**令和3年 10月15日(金)～ 令和3年 10月16日(土)**

**会場**

**熊本城ホール**(熊本県熊本市中央区桜町3 電話:096-312-3737)

**熊本県立第一高等学校**(熊本県熊本市中央区古城町3-1 電話:096-354-4933)

## ■ 日 程

第1日 10月15日(金)	時 間
受 付	8:30 ~ 9:00
開 会 行 事	9:15 ~ 9:30
即興型英語ディベート実演授業	9:40 ~ 10:15
基 調 講 演	10:30 ~ 11:50
昼 食・ 協 賛 展 示	11:50 ~ 13:00
公開授業 (小学校)	13:00 ~ 13:45
指導助言 (小学校)	13:50 ~ 14:10
公開授業 (中学校)	14:20 ~ 15:10
公開授業 (高等学校)	15:25 ~ 16:15
指導助言 (中・高)	16:20 ~ 17:00

第2日 10月16日(土)	時 間
受 付	8:50 ~ 9:20
分 科 会 A	9:20 ~ 10:30
分 科 会 B	10:50 ~ 12:00

## 即興型英語ディベート実演授業・公開授業

即興型英語ディベート実演授業	授業者 ジャッジ/アドバイザー	熊本県立八代中学校 教諭 園田 珠紀 一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会代表理事 大阪府立大学工学部 准教授 中川 智皓
小学校の部	授業者 指導助言者	熊本市立健軍東小学校 教諭 田中 ゆかり 熊本県教育委員会 義務教育課 英語教育推進室 指導主事 深水 宏子
中学校の部	授業者 指導助言者	熊本市立清水中学校 教諭 財部 裕一郎 熊本大学教育学部 教授 島谷 浩
高等学校の部	授業者 指導助言者	熊本県立水俣高等学校 教諭 井元 裕介 一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会代表理事 大阪府立大学工学部 准教授 中川 智皓

## ■ 基調講演

講 師 **和泉 伸一** (いずみ しんいち)

### 講師プロフィール

上智大学外国語学部英語学科・言語科学大学院教授。  
南イリノイ大学カーボンデール校修士課程修了(応用言語学)、ジョージタウン大学博士課程修了(言語学博士)。  
南イリノイ大学東アジア言語文化学科日本語講師、ジョージタウン大学言語学学科講師、  
ハワイ大学マノア校客員研究員、オークランド大学(ニュージーランド)客員研究員を経て現職。  
専門は第二言語習得研究と英語教育。



### 代表的な著書

- 『第2言語習得と母語習得から「言葉の学び」を考える～より良い英語学習と英語教育へのヒント～』(2016年、アルク)
  - 『フォーカス・オン・フォームとCLILの英語授業』(2016年、アルク)
  - 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』(2009年、大修館)
  - 『CLIL(内容言語統合型学習):上智大学外国語教育の新たな挑戦—第1巻 原理と方法、第2巻実践と応用、第3巻 授業と教材』(共著、2011年、2012年、2016年、上智大学出版)
- 中学校用英語検定教科書『New Horizon: English Course 1, 2, 3』(東京書籍)編集委員。東京都英語村(Tokyo Global Gateway)企画運営委員会委員副委員長。

# 分科会A (1A～9A分科会) 一覧

2日目 9:20～10:30

分科会	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
1A	ライティング指導を主軸とした自己表現能力の向上のための戦略的方策	高	佐賀	<b>池田 健司</b> 佐賀県立 唐津東高等学校	ライティング指導を主軸とした自己表現能力の向上を目指す取組を紹介しします。リーディング、ペアグループ活動、フィードバック、定型文暗唱、スピーキング活動、評価を相互作用せ、卒業時まで、高度な自己表現能力を身につけさせることを目標としています。ライティング指導をする際、回避したい状況もあわせて説明させていただきます。
2A	コミュニケーション能力の育成を目指した授業の創造～主体的・対話的で深い学びのできる言語活動の工夫～	中	熊本	<b>豊永 りか 宮本 裕嗣</b> 相良村立 相良中学校 錦町立 錦中学校	一昨年度の熊本県中英研人吉球磨大会に向けて、人吉球磨のメンバーで取り組んできた内容です。単元の目標をふまえ、そこに向かうための1時間ごとの目標及び言語活動を明確にし、5領域にわたって、目的や場面、状況を意識した言語活動を設定すれば、生徒の主体的・対話的で深い学びにつながるのではないかとという仮説を立てて研究しました。今回はその仮説に基づいた授業実践について発表します。
3A	即興型ディベートを通じたパフォーマンステストの在り方	高	熊本	<b>苗床 光太郎</b> 熊本県立 第二高等学校	本校では昨年度、1学年全クラスにおいて『即興型英語ディベート』を授業の中で実践してきており、生徒たちの英語力、特にスピーキング力やリスニング力、またライティング力の向上を図ってきました。今年度は、ディベートを通してより具体的に客観性のあるパフォーマンステストの在り方を考察しています。今回はその実践例について発表を行います。
4A	表現力を高めるための指導法の実践～即興的なoutputにつなげるための活動の工夫～	中	佐賀	<b>富永 奈央子</b> 小城市立 牛津中学校	本地区では、Backward Designに基づく授業展開を進めており、即興的な発話力の育成をゴールとしています。そのため、帯で行う英会話活動やテーマに沿った表現活動、スピーキングテストなどの「話す」活動に重点をおいて研究に取り組んでいます。
5A	意欲的に英語学習に向かう生徒を育てるためには～やり抜く力(GRIT)と自己決定理論(SDT)を用いた実践とその考察～	高	宮崎	<b>津上 直子</b> 宮崎県立 五ヶ瀬中等教育学校	本研究では「意欲的に絶え間なく英語学習に努力を惜しまない生徒を育てる」ことを目指して、フィンランドでの学びを元に、本校の高校2年生に対して行った3年間の教育実践について、発表します。2015年から2016年2017年から2018年までは自己決定理論(Deci&Ryan,2002)に基づく視点で教育実践を行い、2019年からGrit(Duckworth 2016)の視点も加えて教育実践をおこなって生徒の学習意欲と英語力関連性について考察しました。
6A	中高を通して生徒の文構造の理解力を育むための系統的な指導と実践について～異校種間で活用するワークシートの工夫～	中	宮崎	<b>山路 理恵</b> 宮崎県立 宮崎西高等学校附属中学校	本校では、中学校の授業を中学と高校の教員で担当しています。中学の段階から意図的に身につけさせたい資質・能力を共有し、授業の要となるワークシートに反映させることを試みました。中学1年と2年それぞれにおける実践を発表します。
7A	パフォーマンス課題に主体的に取り組ませるための指導	高	沖縄	<b>新里 廣美</b> 沖縄県立 名護商工高等学校	英語が苦手な生徒たちにICTを活用した学習活動で足場づくりのを行い、準備型、チャレンジ型の2つのパフォーマンス課題に取り組ませました。ルーブリックを段階的に用いて生徒たちの目標意識を高める指導を紹介しします。
8A	グローバル社会で生きる資質・能力を身に付けた生徒の育成～令和時代の「スタンダード」に備えた英語教育 Kagoshimaの取組～	中	鹿児島	<b>山口 優子</b> 鹿児島市立 伊敷中学校	一人1台端末環境が令和のスタンダードになろうとしている今、グローバル社会で生きる子供たちの資質・能力を身に付けさせるためにICTを効果的に活用して英語力を向上させるためにはどうしたら良いか、各学校での実践例を発表します。
9A	子どもたちが主体的にコミュニケーションを図ることができる授業づくり	小	熊本	<b>和田 彩</b> 熊本市立 託麻北小学校	子どもたちが、伝え合う必然性のある場面において、伝えたい相手に、伝えたい内容でコミュニケーションを図ることができる授業実践について発表します。子どもたちが目的意識を持って活動できるように、単元のゴール設定を工夫しました。本市ですでに1人1台配付されているタブレットの効果的な活用も取り入れています。

# 分科会B (1B～9B分科会) 一覧

2日目 10:50～12:00

分科会	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
1B	理解力や表現力を高める 語彙指導の工夫	中	大分	<b>末房 宏和</b> 杵築市立 杵築中学校	理解するために必要な「受容語彙」と表現するために必要な「発信語彙」を効果的に習得させるための実践を紹介します。また、指導前と指導後の変容を分析し、成果と課題について考察します。
2B	音読活動や週課題を 通した基礎学力の育成	高	長崎	<b>田中 雄一郎</b> <b>秋月 直剛</b> 長崎県立 島原高等学校	学業と部活動の両立を目指す生徒たちが効率的に基礎学力を身につけられるように工夫してきた取組を紹介します。授業では、音読などの活動を通して授業の中で英語力を身につけさせようとしてきました。課題では、週ごとに単語・文法学習を何度も学習させ定着を図りました。
3B	言語活動を通した指導を 目指す授業づくり	中	福岡	<b>小池 幸彦</b> 北九州市立 松ヶ江中学校	5つのポイントを掲げた“北九州スタンダード”を踏まえ、「目的・場面・状況」を明確に設定した即興的言語活動の実践、また個人の教育機器を使用し学びの保証・充実をはかった授業づくりを発表します。
4B	「総合的な探究の時間」と 連携した英語科指導の工夫	高	大分	<b>後藤 史典</b> 大分県立 大分上野丘高等学校	総合的な探究の時間と連携し、グローバルな社会的課題に対する課題研究を通して英語力を高めるための指導実践を紹介します。また、総合的な探究の時間でのICT技術を応用し、英語科での指導に生かすための工夫を紹介します。
5B	習得した技能を目的や場 面、状況に応じて自分の考 えや気持ちを適切に表現で きる生徒の育成 ～帯活動における即興性を意識 した言語活動の取組を通して～	中	沖縄	<b>伊波 木綿子</b> うるま市立 高江洲中学校	前年度は、アウトプットの機会を増やしコミュニケーション活動を中心とした授業を通して、既習事項の定着を図ると共に、即興性を重視した「思考力・判断力・表現力」を育む授業の実践を行いました。その結果、生徒は簡単な英語を用いて説明したり、気持ちを伝えたり、即興でやりとりすることができるようになりました。今年度はShow and tellを帯活動に取り入れ、より自分の考えや意見が言えるように、また、相手の意見に対し自分の考えが述べられるように言語活動を重視した指導を行っていきます。
6B	コミュニケーション能力育 成を目的としたリスニング 指導の在り方	高	鹿児島	<b>木口 瑞穂</b> <b>豊島 恵里</b> 霧島市立 国分中央高等学校 鹿児島実業高等学校	本研究では、内容をより集中して理解できるよう、「聞く」前にスキーマ活性を狙った事前活動を行い、発問を概要から詳細へと変えて、何度も聞かせることで、内容理解を深める指導を行います。また、将来英語を使用する場面を想定し、ALTの話す内容を聞き取り、適確に対応する力を育成するための取り組みを発表したいと考えています。
7B	へき地・極小規模校に おけるコミュニケーション 能力の育成	中	長崎	<b>森 敦郎</b> 西海市立 平島中学校	極小規模校の授業では、コミュニケーションの対象が非常に少ないことから、「言語活動の多様性」や「言語活動の場面設定」など、様々な課題があります。これらの課題を解決するために取り組んだ授業実践について発表します。
8B	ハイブリッドな Communicative Activity を通しての英語力向上	高	福岡	<b>小西 洋平</b> 福岡県立 久留米高等学校	リーディングの授業におけるCommunicative Activityの実践とその効果について発表します。読み物を題材にしながら、会話、内容理解、ディベートとつなげていくことで、生徒の主体性、論理性、批判的思考力、4技能の育成を図りたいです。
9B	「進んでコミュニケーション 活動に取り組む児童の育成」 ～伝え合う喜びを共に実感する コミュニケーション活動の創造～	小	熊本	<b>川畑 雄二</b> 多良木町立 黒肥地小学校	町教育委員会の三年間の研究指定を受け外国語活動（外国語科）を軸にコミュニケーション活動に取り組む児童の育成に取り組んできました。特色は、六年生の年間十二回のオンライン英会話、熊大教育学部と熊大教育学部附属小学校との研究協定による研究推進です。成果として、児童が、コミュニケーションに係る意識の高まりやめあてを意識した活動ができるようになってきたことです。

## ■ 参加料の徴収について

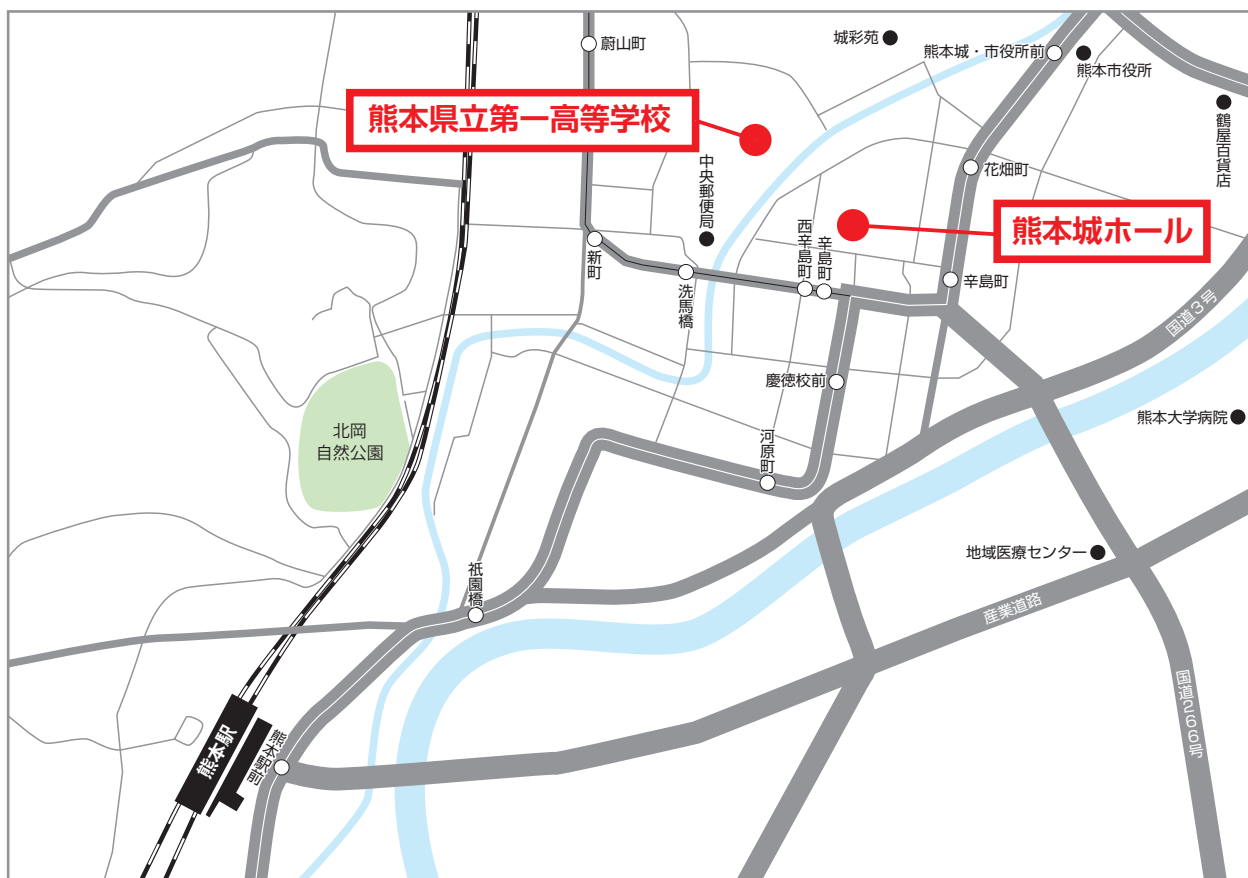
一般 4,000円      小学校関係者 2,000円  
 学生 1,000円(当日)

参加料の徴収業務につきましては、名鉄観光サービス株式会社熊本支店に委託し、領収証はお支払い完了後に郵送いたします。

## ■ 会場へのアクセスについて

会場周辺には十分な駐車場がございませんので、出来る限り公共交通機関にてお越しください。

1日目【熊本城ホール】	2日目【熊本県立第一高等学校】
<p>■市電 辛島町・西辛島町より徒歩3分 花畑町より徒歩5分</p> <p>■バス 桜町バスターミナル直結</p> 	<p>■市電 洗場橋より徒歩3分</p> <p>■バス 桜町バスターミナルより徒歩8分</p> 



## ■ 大会に関する情報

熊本県高英研HPでの九州大会の特設サイトにて随時更新していきますのでご覧ください。

(「九州大会英語熊本」で検索すると直接アクセス可能です。)

熊本県高英研HP : <https://ws.higo.ed.jp/hseigo/>      QRコード ⇒

熊本高英研 <https://ws.higo.ed.jp/hseigo/>



## ■ 問い合わせ先

九州地区英語教育研究団体連合会

第69回九州地区英語教育研究大会(熊本大会)実行委員会

大会実行委員長: 平井 和仁(ひらい かずひと)

(1) 電話でのお問い合わせ: TEL: 096-368-4125

(2) インターネットでのお問い合わせ URL: <https://forms.office.com/r/6ssZigDgBS>

(3) QRコードでのお問い合わせ ⇒



# 大会参加お申し込み方法とお支払いについて

大会参加のお申し込みは「参加申込専用サイト」へアクセスしてお申し込みください。

**URL : <http://www.mwt-mice.com/events/kyushu-english69>**

※大会に関する情報や申込要項は、申込専用サイト TOP 画面に掲載しております。

※熊本県高等学校教育研究会英語部会（熊本県高英研）のホームページにもリンクを貼り付けております。

## 1 参加申込専用サイトへアクセス

■上記 URL へアクセスしていただき、申し込みの手続きをお願いいたします。

■参加申込専用サイト TOP 画面の「新規お申し込みはこちら」をクリックしてください。

**【申込期間】 2021年6月7日(月)～8月27日(金)**

## 2 個人情報取扱・旅行条件書について

■お申し込みをいただくあたり個人情報の取扱条項に同意いただきましたら、「上記規約に同意します」にチェックを入れ、「新規申込画面へ進む」をクリックしてください。

※旅行条件書はご一読いただきますようお願いいたします。

## 3 お申し込み連絡担当者情報入力

■所属名、申込担当者名、連絡先等の申込者情報を入力していただき「次へ」をクリックしてください。

※パスワードは再度ログインする際に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

## 4 参加者情報入力

■大会に参加される方の参加者情報を入力していただき、ご希望の参加区分や分科会はプルダウンメニューより選択してください。

■昼食弁当をご希望の場合は、チェックを入れてください。

■宿泊をご希望の場合は、ご希望の宿泊施設をプルダウンメニューより選択してください。

■参加者が2名以上の場合は、「参加者を追加」をクリックしてください。

■参加者情報を入力していただきましたら、「確認画面へ」をクリックしてください。

## 5 入力内容の確認

■申込者情報・参加者情報をご確認いただき、「申し込む」をクリックしてください。

## 6 参加申込情報登録完了

■登録完了後、ご登録いただいたメールアドレスに申込完了メールが送信されます。

■再度ログインする際はご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要となります。

## 7 変更・取消について

■8月27日(金)までは参加申込専用サイト上にて変更・取消が可能です。

■8月28日(土)以降は、参加申込専用サイト TOP 画面に「変更・取消・追加 連絡書」をダウンロードしていただき、E-Mail または FAX にてご連絡ください。

## 8 お支払いについて

■お支払いは、カード決済または銀行振込にてお選びいただけます。

カード決済:登録完了後、「決済する」をクリックして画面の手順に従い手続きをお願いいたします。

銀行振込 : 諸経費を指定の口座へお振り込みください。

## 9 ID カード・大会参加券等の送付

■お支払いを確認させていただき、9月以降に所属先へ ID カード・大会参加券等を送付いたします。

お問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社熊本支店

〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街 11-18 熊本第一生命ビルディング 7 階

TEL : 096-354-4351 / FAX : 096-354-4359

E-Mail : kyushu-english69@mwt.co.jp

担当 : 堀川 智宏

